

学 生 募 集 要 項

神学研究科神学専攻

博士前期課程

2026年度



TCU | 東京基督教大学大学院

東京基督教大学 アドミッションセンター 大学院入試担当

住 所:270-1347 千葉県印西市内野3-301-5

Webサイト:<https://www.tci.ac.jp/>

電話番号:0476-46-1131

E m a i l:graduate-school@tci.ac.jp

対応時間:9:00~16:45(月曜日~金曜日) ※昼休み 11:20~11:50 を除く

Web 出願サイト等に提出された氏名、住所その他の個人情報は選抜の実施、合否発表、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しない。

目 次

	ページ
信仰基準	1
建学の精神	2
大学院の目的	2
神学研究科神学専攻(博士前期課程)教育研究上の目的	2
神学研究科神学専攻(博士前期課程)のコース	2
カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)	3
ディプロマポリシー(修了認定・学位授与に関する方針)	3
1 アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)	4
2 出願資格	4
3 募集人数・試験区分	5
4 学内推薦許可、事前相談、個別入学資格審査の手続き	5
5 選考日程	6
6 試験方法・内容	6
7 出題範囲・期待されるレベル	8
8 Web 出願について	9
9 入学検定料(受験料)	11
10 書類提出先・問い合わせ先	11
11 合否発表	11
12 入学手続き・辞退手続き	11
13 不正行為への対応	12
14 受験上の合理的配慮	12
15 長期履修制度	12
16 学生納付金(2026年度)	13
17 奨学金(2025年度実績)	14
18 修士論文・修士プロジェクト指導教員一覧(2025年度)	15

交通案内・試験会場

信仰基準

本学で基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りはありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとされたすべてのことを含み信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。
3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで主を信じる者はみな罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えてキリストのかたちに似る者としてくださいます。
8. 教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従ってすべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえられ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて21世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

1. 福音主義
聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。
2. 超教派
超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。
3. 実践的神学教育
福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。
4. 世界宣教
宣教の主イエス・キリストの大命令に応じて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

大学院の目的

建学の精神に基づいて、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、キリスト者である男女に、神学に関する学術的理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、高度専門職業人である教会教職者（牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・教会主事等）および神学研究者・教育者としての深い学識、卓越した能力および品格を培い、教会と社会の安寧と発展に寄与することを目的とする。

神学研究科神学専攻(博士前期課程)教育研究上の目的

プロテスタント・キリスト教の精神に立って、旧約・新約聖書に基づく高度で体系的な神学上の学識・深い霊性と高い倫理性・論理的説明能力・他者との協働による問題解決能力を身につけ、複雑な様相を呈する現代社会に生きる人々に対する深い理解をもって教会を形成し、より良き市民社会の実現のために貢献できる高度専門職業人としての教会教職者を養成することを主要な目的とする。また、将来、本学または他の神学教育機関において神学の教育・研究に携わる神学研究者・教育者の養成もその目的に加える。

神学研究科神学専攻(博士前期課程)のコース

コース	受講形態
教会教職コース	- 対面
研究教育コース	- 対面
	- オンライン ※

※ 研究教育コース(オンライン)は、教室での授業をリアルタイムでオンラインにて受講する。

修士論文・修士プロジェクトの指導もオンラインにて行う。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- a. 研究科神学専攻の下、「聖書学」領域と「神学・教会」領域を設置し、両領域から必修科目・選択科目をバランスよく配置することにより、神学に関する高度で体系的な実践的知識を身につけさせることを目的とする。
- b. 基幹科目群による神学理解に基づき、学生が選択した分野について修士論文を書き上げるために、高度な専門知識と研究能力を深めることのできる専門科目群を設置する。
- c. 研究指導の一環として初年度第1学期に、神学研究の基礎を全学生に教授し、研究分野に焦点を絞る前の、総合的な神学研究への導入を行う。
- d. 「神学・教会」領域の実践的適用性を重視する諸科目と合わせて、説教と実践神学に関する演習科目において、神学の専門知識を実践に応用する能力及び教会教職者としての倫理性の涵養を目指す。
- e. 神学研究科神学専攻(博士前期課程)においては、その養成する人材像に基づき、教会教職コースと研究教育コースの2コースを設け、履修の指針とする。

ディプロマポリシー(修了認定・学位授与に関する方針)

以下に掲げる3つの能力及び専攻に固有の高度な専門知識と研究能力を身につけ、2年以上の在学と所定の30単位以上(研究教育コース修了の場合は同単位数)を履修し、かつ研究指導を受けた上で、提出された修士論文又は特定の課題についての審査及び最終試験に合格した者に、「修士(神学)」の学位を授与する。

ただし、教会教職コース修了には、上記修了要件を含む38単位以上を、当該の履修モデルに従って修得する必要がある。

- a. 今日の教会と世界が直面する神学的諸課題について、旧約・新約聖書の原語による解釈とそこから導き出せる原則に基づき、キリスト教の豊かな伝統と今日の状況に照らして分析・統合し、現代に対して意味のある神学を創造的に営む能力。
- b. 自らの知見を、他者に説得力をもって伝達するための論理構築をし、表現する能力。
- c. 現代の教会と社会において直面する多様な事態に、高い倫理性と品格をもって取組み、問題解決のために提言するだけでなく、他者を理解し協働する能力。

1 アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

それぞれのコースについて、a・b・cすべての項目に該当する者であること。

1) 教会教職コース

- a. 将来、教会教職者(牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・教会主事等)になるという召命(使命)を持ち、それらの職に就くための高度な専門教育を受けることを欲する者。
- b. プロテスタントのキリスト教会において、受洗後、または幼児洗礼の場合は信仰告白後、3年以上の教会生活を送り、本研究科への入学について教会の推薦を得られる者。
- c. 入学時まで、神学の専門基礎教育(聖書言語を含む)を修了している者。または、本研究科の定める神学に関する知識(聖書言語を含む)を有すると認められる者。

2) 研究教育コース

- a. 将来、大学や神学研究・教育機関で働く神学研究者・教育者になるという召命(使命)を持ち、それらの職に就くための高度な専門教育を受けることを欲する者。
- b. プロテスタントのキリスト教会において、受洗後、または幼児洗礼の場合は信仰告白後、3年以上の教会生活を送り、本研究科への入学について教会の推薦を得られる者。ただし、教会制度をとらないプロテスタントの諸団体に属する者は、本条件に準ずる者であること。
- c. 入学時まで、神学の専門基礎教育を修了している者。または、本研究科の定める神学に関する知識を有すると認められる者。

2 出願資格

受洗後、キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者で、博士前期課程レベルの学修・研究をする日本語能力を有し、次のいずれかの各号に該当する者。

1. 大学を卒業した者、および2026年3月に卒業見込みの者。
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月までに授与見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月までに修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月までに修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月までに修了見込みの者。
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月までに修了見込みの者。
8. 文部科学大臣の指定した者。
9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、本課程における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
10. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者。

3 募集人数・試験区分

募集人数 18名

試験区分	対象者	募集人数
学内推薦試験(対面方式)	受験年度に本学神学部を卒業見込みの学生で、学業成績が優秀な者。学業成績基準は、受験年度の秋学期までの累計GPAが3.0以上相当。	12名
学内推薦試験(オンライン方式)※		
一般試験(対面方式)	学内推薦試験以外の志願者で、出願資格を満たす者。	6名
一般試験(オンライン方式)※		

※ 原則、本学キャンパス内における対面方式で試験を行う。ただし、志願者のやむを得ない事情等によってキャンパスでの対面受験ができない場合は、オンラインでの受験を許可する。希望者は「オンライン受験に関する誓約書」をWeb出願サイトより提出すること。オンライン方式はインターネット経由の遠隔会議システムZoomを使用して実施する。

4 学内推薦許可、事前相談、個別入学資格審査の手続き

「学内推薦試験」：出願前に本学神学部長の推薦許可を得る為、以下の手続きを行うこと。

- (1) [受験生] 担任教員と面談の日程を調整する(面談は秋学期終了前までに受けること)。
- (2) [受験生] Web出願サイトから担任教員のメールアドレス宛に「学内推薦申込書」を送付する。
- (3) [受験生および担任] 面談
- (4) [担任] 面談後、「学内推薦申込書」にWeb出願サイトから入力する
- (5) [受験生] 学内推薦への出願の可否を、Web出願サイトにて確認する。

「一般試験」：出願前に事前相談、または個別入学資格審査を受けること。

4ページの「2 出願資格」1.～9.に該当する場合は「事前相談」、10.の場合は「個別入学資格審査」を受けること。受付期間は、それぞれの試験の出願開始の概ね1ヶ月前までとする。

以下の書類提出後、対面またはオンラインで面談を行なう。

提出物	事前相談	個別入学資格審査	備考
1 事前相談申込書	○	—	書類の提出等についての詳細は本要項9ページ及びWeb出願サイトを参照のこと。
2 個別入学資格審査申請書	—	○	
3 卒業校の成績証明書、シラバス、卒業(見込)証明書 ※	○	○	

※ 卒業校：最終学歴の卒業校。神学の専門基礎教育を修了した場合は、合わせて提出する。

5 選考日程

試 験	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続き締切日
一般 (第一期)	2025年10月24日(金) ～11月3日(月)	2025年11月20日(木)	2025年11月27日(木)	2025年12月15日(月) 必着
学内推薦	2025年12月1日(月) ～12月5日(金)	2025年12月15日(月)	2026年1月15日(木)	2026年1月30日(金) 必着
一般 (第二期)	2026年1月5日(月) ～1月13日(火)	2026年1月30日(金) 又は 1月31日(土)	2026年2月13日(金)	2026年3月2日(月) 必着

- 注意 1. 対面方式試験、オンライン方式試験とも日程は同じ。
2. 外国籍で海外に在住しており本学合格後に在留資格「留学」を申請する受験者は、在留資格認定証交付申請が必要となる。手続きには時間がかかるため、一般(第一期)を受験すること。
3. 一般(第二期)の試験日については、受験者数に応じていずれかの日で実施する。日程は個別に通知する。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症の罹患等により、各試験日に受験できず、当該本試験前日までに振替受験または追試験を希望し許可された者は、以下のように受験日を変更することができる。振替受験、追試験の入学検定料は別に徴収しない。

本試験			振替受験、追試験	
試験区分	試験日			
一般(第一期)	2025年11月20日(木)	→	一般(第二期)へ振替受験が可能。 2026年1月30日(金) 又は 2026年1月31日(土)	
学内推薦	2025年12月15日(月)	→	2026年1月8日(木)	
一般(第二期)	2026年1月30日(金) 又は 2026年1月31日(土)	→	2026年2月23日(月)	

6 試験方法・内容

【対面方式】

入試区分	試験科目	形式・内容	時間
学内推薦	面接	身上・研究テーマ等	30分
一般	面接	身上・研究テーマ等	30分
	日本語	口述試験	20分
	聖書	筆記試験	100分
	聖書言語	筆記試験	70分

【オンライン方式】

入試区分	試験科目	形式・内容	時間
学内推薦	面接	身上・研究テーマ等	30分
一般	面接	身上・研究テーマ等	30分
	日本語	口述試験	20分
	聖書		20分
	聖書言語	筆記試験	70分

試験当日のスケジュールはメールで通知する。試験日の3日前までにメールが届かない場合は、アドミッションセンターまで問い合わせること。

〈聖書言語〉

- ・ギリシア語またはヘブライ語のいずれかを選択。
- ・研究教育コースの「神学・教会」領域を選択した者は試験免除。
- ・オンライン方式の試験では、試験開始直前に試験問題が受験者のコンピューター等の画面に表示され、受験者は事前に送付された回答用紙に手書きで回答する。試験終了後直ちに解答用紙をスキャンまたは写真撮影し、その電子データを本学へ送信する。詳細は出願後に通知する。

(次ページへ続く)

〈日本語試験〉

- ・日本語を母語としない者が対象。
- ・博士前期課程レベルの学修・研究をする日本語能力の有無を口述試験により審査する。
- ・以下の(1)～(4)に該当し、証明書を提出した者は日本語試験が免除される。
(5)～(7)に該当し、証明書を提出した者および(1)～(7)のいずれの証明書も提出できない者には、日本語試験を課す。

ただし、在留資格「留学」申請予定者は、(1)～(7)いずれかの証明書の提出が必須。

- (1) 日本語能力試験(JLPT) N1レベル
- (2) 日本留学試験[日本語]「読解、聴解・聴読解」で280点以上かつ「記述」で35点以上
- (3) BJTビジネス日本語能力テスト480点以上
- (4) 大学学部課程以上において日本語で学業を修了(または修了予定)の者

- (5) 日本語能力試験(JLPT) N2レベル
- (6) 日本留学試験[日本語]「読解、聴解・聴読解」で200点以上かつ「記述」25点以上
- (7) BJTビジネス日本語能力テスト400点以上

- ・証明書は本学Web出願サイトよりコピーをアップロードする。原本は後日、本学まで郵送すること。郵送先住所は11ページ「10 書類提出先・問い合わせ先」を参照。

〈日本語を母語としない受験生への対応〉

- ・対面方式の「聖書」、「聖書言語」、オンライン方式の「聖書言語」では、受験時に母語・日本語の辞書使用を許可する(電子辞書およびインターネットの使用不可)。

〈評価観点・比重〉

教会教職コース

アドミッションポリシー	評価方法	評価観点	評価比重
教会教職者への召命 そのための専門教育を志望していること	面接・出願書類	召命の明確さ 信仰者としての姿勢 実践との整合性 学びへの関心と適性	35
受洗後、3年以上の教会生活 教会からの推薦	面接・推薦書・教会生活報告書	教会生活年数 信仰・教会生活 教会の受容と支援	- 15
神学的知識(聖書言語を含む)	筆記試験(聖書言語) 筆記/口頭試験(聖書) (学内推薦)本学神学部を修了	聖書言語力 神学に関する知識	50

研究教育コース

アドミッションポリシー	評価方法	評価観点	評価比重
研究者・教育者になるという召命 そのための専門教育を志望していること	面接・出願書類	召命・研究志望の明確さ 信仰者としての姿勢 研究課題の明確性 学びへの関心と適性	35
受洗後、3年以上の教会生活 教会からの推薦 (教会制度をとらないプロテスタントの諸団体に属する者は、この条件に準ずる者)	面接・推薦書・教会生活報告書	教会生活年数 信仰・教会生活 教会との関係性	- 15
神学的知識	筆記/口頭試験(聖書) (学内推薦)本学神学部を修了	神学に関する知識	50

7 出題範囲・期待されるレベル

【聖書】

- 1) 旧約聖書と新約聖書の概要、及びその歴史的、神学的関係性を説明出来ること。
- 2) 宗教改革の背景と内容を理解し、プロテスタント神学の基本理念を説明出来ること。
- 3) 福音主義キリスト教を理解し、その重要性を説明出来ること。

【聖書言語(ヘブライ語)】

聖書ヘブライ語の文法、名詞等の把握、動詞の変化等の理解、ヘブライ語本文の訳を問う。いずれも聖書ヘブライ語の基本的習熟度を問う設問である。

参考: 本学で使用している教科書

- ・『聖書ヘブライ語』谷川政美 監修 古代語研究会編、サンパウロ、2009年

このテキストではなくとも、以下のテキストがカバーするような内容を範囲とする。

- ・『実践旧約ヘブル語文法』J・ワイングリン著、鍋谷堯爾、宮崎茂(訳)、いのちのことば社、1996年
- ・James D. Martin, *Davidson's Introductory Hebrew Grammar* (T&T Clark, 1993)
- ・Thomas O. Lambdin, *Introduction to Biblical Hebrew* (Darton Longman and Todd, 1973)

【聖書言語(ギリシア語)】

新約聖書のギリシア語の初級文法。語彙は基本的な単語、そして動詞や名詞などの基本的活用を問う。新約聖書のギリシア語本は著作権法との兼ね合いで、Michael Holmes 校訂のSBL版を用いる。
<https://sblgnt.com>

参考: 本学で使用している教科書

- ・ジェレミー・ダフ著、浅野淳博訳『エレメンツ: 新約聖書ギリシア語教本』(新教出版社)

その他の教科書等

- ・土岐健治著『新約聖書ギリシア語初歩』(教文館)
- ・グレシャム・メイチェン著、田辺滋訳『新約聖書ギリシア語原典入門』(新生宣教団)

8 Web出願について

Web出願サイト <https://admission.tci.ac.jp/>

パソコンからの入力を推奨

推奨ブラウザとバージョン:Microsoft Edge・Chrome・Firefox 最新バージョン

【アカウント作成・基本情報・「入学志願票」等】

No.	項 目	学内推薦	一般	説明・注意事項等
1	アカウント作成	○	○	メールアドレス、パスワード(8文字以上、アルファベット大文字・小文字・数字・記号を使用)、氏名等の情報を登録
2	基本情報	○	○	氏名、半角カナ、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、出願者以外の緊急連絡先ほかの入力
3	顔写真	○	○	デジタル写真 ※写真は学生証にも使用する。 (ファイル形式:JPEG、推奨サイズ:640×480ピクセル、脱帽、無背景、正面上半身、3ヶ月以内に撮影したもの)
4	志願する課程	○	○	以下のいずれかを選択 ・神学研究科 博士前期課程(修士)学内推薦 ・神学研究科 博士前期課程(修士) 事前相談 又は 個別入学資格審査
	4-1「学内推薦申込書」	○	—	担任教員の氏名、メールアドレスを入力 学内推薦出願の可否はマイページで確認 5ページ「4 学内推薦許可、事前相談、個別入学資格審査の手続き」を参照
	4-2「事前相談申込書」	—	○	志望コース、研究領域を選択し、学修歴、事前相談希望日程または個別入学資格審査希望日程(複数)を入力 事前相談の結果はマイページで確認
	4-3「個別入学資格審査申込書」	—	○	5 ページ「4 学内推薦許可、事前相談、個別入学資格審査の手続き」を参照
	4-4「成績証明書」と「卒業(見込)証明書」、「シラバス」	—	○	卒業校の「成績証明書」、「卒業(見込)証明書」の提出(郵送または電子証明)。 ※成績証明書に卒業の旨が記載されている場合は、卒業証明書は提出不要。 神学校を卒業した場合、シラバスをアップロード 卒業校:最終学歴の卒業校。神学の専門基礎教育を修了した場合は、合わせて提出する。
5	「入学志願票」	○	○	志望コース、入試区分、研究領域、免除希望科目、聖書言語の選択等の入力

【出願書類】

No.	項 目	学内推薦	一般	説明・注意事項等
1	「履歴書」	○	○	・学歴(高校卒業から)・職歴・賞罰、所属教会、受洗年月日等の入力 ・入寮・通学・オンラインのいずれかを選択

2	「所属教会牧師等推薦書」	○	○	「所属教会牧師等推薦書」 所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者が入力 ----- 「教会生活報告書」 出願前の1年間出席した教会の牧師等(学内推薦受験者は受験年度の実習教会)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力
3	「教会生活報告書」	○	○	「教会生活報告書」 出願前の1年間出席した教会の牧師等(学内推薦受験者は受験年度の実習教会)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力
4	「キリスト者推薦書」	—	○	「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力 ----- 「キリスト者推薦書」 客観的に志願者を評価できるキリスト者(所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く)が入力
5	「自己紹介書」	—	○	ボランティア活動や教会外での奉仕の経験、卒業後の希望する奉仕分野等の入力
6	「救いと献身の証し」	—	○	1,200字以上～2,000字以内で入力
7	「修士論文・修士プロジェクト研究テーマ希望書」	○	○	研究領域、指導教員については、15ページ「18 修士論文・修士プロジェクト指導教員一覧」および本学シラバス(https://syllabus.tci.ac.jp/)を参照
8	「合理的配慮申請書」	該当者	該当者	身体等に障がいがあり、受験に際して特別の配慮を必要とする場合に提出 12ページ「14 受験上の合理的配慮」参照 内容は入試判定とは無関係。受験上の配慮に関する事以外に使用しない。
9	「オンライン受験に関する誓約書」	該当者	該当者	オンライン方式試験を希望する者のみ入力
10	「パスポート」および「在留カード」のコピー	外国籍者	外国籍者	パスポート:氏名欄ページのPDFデータをアップロード 在留カード:カード両面のPDFデータをアップロード
11	「日本語能力に関する証明書」	—	該当者	日本語が母語でない者のみ提出 6ページ「6 試験方法・内容」参照

【入学検定料(受験料)の支払い】

● 入学検定料(受験料)の支払	○	○	出願締切日までに支払いを完了すること。 (全ての出願書類の提出後に受験料の支払いが可能)
-----------------	---	---	---

【受験票の確認】

● 受験票の確認	○	○	入学検定料(受験料)の着金確認後、受験票が発行される。受験票はマイページで確認
----------	---	---	---

9 入学検定料(受験料)

- ・ 入学検定料(35,000円)はWeb出願サイトで願書を提出後に支払うこと。

国内在住者:以下の銀行口座に振込

銀行名	千葉興業銀行
支店名	千葉ニュータウン支店
口座種別	普通預金
口座番号	1273611
口座名義	カトリックキリスト教カレッジ (学)東京キリスト教学園

海外在住者:Web出願サイトからクレジットカード支払い

- ・ 支払いが確認できない場合は受験できない。
- ・ 振込金受領書(ATMの送金明細書等)は検定料の支払いを証明するものなので、大切に保管すること。
- ・ 一度納入された入学検定料は返還しない。

※災害救助法適用地域で被災された方へ

申請条件を満たした被災者は入試における入学検定料の免除申請が可能です。申請条件および申請方法等の詳細は本学ウェブサイトをご参照下さい。

(本学ウェブサイトトップページ ➡ 入学案内 ➡ 入試案内 ➡ 大規模災害罹災に伴う入学検定料の免除について)

10 書類提出先・問い合わせ先

東京基督教大学 アドミッションセンター 大学院入試担当

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5-1

TEL 0476-46-1131

E-Mail graduate-school@tci.ac.jp

FAX 0476-46-1405

WEBサイト <https://www.tci.ac.jp/>

窓口対応時間(月曜日～金曜日) 午前9時～午前11時50分、午前12時50分～午後4時45分

11 合否発表

受験者は、各試験の合否発表日にWeb出願サイトのマイページにて合否結果を確認すること。また、合否発表日に合否結果を受験者全員へ郵送する。合否について窓口・電話での問合せには応じない。

合否発表日から数日経過しても結果通知が届かない場合は、アドミッションセンターまで問い合わせること。

12 入学手続き・辞退手続き

合格者は、入学手続き締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出すること。締切日までに手続きを完了しない場合は、合格を取り消すことがある。やむを得ない事情により入学手続き締切日までに学生納付金を納入できない場合は、延納することが可能。事前にアドミッションセンターまで問い合わせること。

入学手続き完了後に本学への入学を辞退する場合、2026年3月31日(火)までに申し出があれば、入学金を除く納付金を返還する。

13 不正行為への対応

以下のような行為を不正行為とみなす。

- ・ 出願手続きにおいて虚偽の記載、偽造、剽窃をすること。
- ・ 試験時間中に、カンニングすること。
- ・ 試験時間中に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為を行うこと。
- ・ 試験時間中に、携帯電話等の音を鳴らすこと。
- ・ 試験の際に認められていない用具を使用すること。(机上に置くこと、身に着けることを含む。)
- ・ 試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において、試験官等の指示に従わないこと。
- ・ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ この他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為のあった者には、ただちに試験の中止を命じ、既に受験した試験を無効とし、以後に実施される今年度の入学試験の受験を認めない。また、警察に被害届を出す場合がある。受験後に不正行為があったことを示す明確な証拠が出てきた場合、合格後及び入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

14 受験上の合理的配慮

障がいにより受験上の合理的配慮を希望する受験生は、以下の手順に従って申請すること。

〔申請方法〕

Web出願サイトより申請する。

〔申請に必要な書類〕

- (1) 合理的配慮申請書(Web出願サイトにて入力)
- (2) 診断書または障害者手帳のコピー(Web出願サイトにアップロード)
 - ・ 発達障がいまたは精神障がいの場合、診断書の提出が必須(障害者手帳のコピーのみでは不十分)。診断書の様式は任意だが、以下の条件を満たしていること。
 - ・ 申請時から3か月以内に発行されたもの
 - ・ 診断名・症状等が具体的に記載されているもの
 - ・ 希望する配慮と配慮が必要な理由が記載されているもの

〔配慮事項の通知〕

提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を検討し、個別に通知する。なお、申請されたすべての配慮内容に対応できるとは限らない。

受験または配慮申請を取りやめる場合は、速やかにアドミッションセンターまで連絡すること。

15 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができる制度。長期履修期間は標準修業年限の2倍である4年を超えないこと。

学生納付金は、以下のように徴収する。

1年目・2年目	通常の学生納付金と同額
3年目・4年目	在籍料:当該年度の授業料及び施設費の合計額の10分の1 教育充実費:通常の納付金と同額 寮費、食費:通常の納付金と同額

本制度の利用希望者は、出願前に必ずアドミッションセンターまで相談すること。

16 学生納付金(2026年度)

合格者は入学手続き締切日までに「初年度納付額」を納める。分納を希望する場合、入学手続きの際は「入学手続き時納付額」を納入する。

【初年度納付額】

単位:円

	独身寮	家族寮A (44㎡) 1S,2DK,B,T	家族寮B (39㎡) 2DK,B,T	家族寮C (37㎡) 1S,1DK,B,T	通学・ オンラインプログラム	入学手続き時 納付額
入 学 金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	479,100 ----- (内部進学者) 379,100
授 業 料	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000	
施 設 費	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
教育充実費	59,100	59,100	59,100	59,100	59,100	
小計①	1,119,100	1,119,100	1,119,100	1,119,100	1,119,100	
寮 費	300,000	300,000	300,000	300,000		212,000
家族寮加算分	—	315,000	255,000	210,000		
寮室電気料金	12,000					
食 費	300,000					
小計②	612,000	615,000	555,000	510,000		
合計①+②	1,731,100	1,734,100	1,674,100	1,629,100	1,119,100	691,100
内部進学者 合計①+②	1,631,100	1,634,100	1,574,100	1,529,100	1,019,100	591,100

1) 学納金納付期間(分納)

年3回(入学手続き時、8月、12月)。8月・12月の納付額についての詳細は入学後に別途通知する。

2) 本学神学部を2026年3月に卒業する内部進学者からは入学金を徴収しない。

3) 家族寮について

- ・ 可否発表時には部屋タイプが未定のため、家族寮費の年額ではなく、入学手続き時納付額を徴収する。部屋タイプごとに8月、12月に家族寮加算分を徴収する。
- ・ 退寮時の清掃費用として30,000円を徴収する。経年劣化以外の修繕が生じた分は別途費用を徴収する。
- ・ 家族寮間取り S:スタディールーム、DK:ダイニングキッチン、B:風呂、T:トイレ

4) 学納金は年度ごとに改定される場合がある。また食費は物価変動に応じて年度の途中で改定する場合がある。

17 奨学金(2025年度実績) ※ 内容は変更される場合がある。

【本学奨学金】

奨学金名	対象・金額等
恩澤会奨学金	大学院に在籍する者。年額30万円を上限に給付。
東京福音教会奨学金	大学院に在籍する者。年額30万円を上限に給付。
ノア奨学金	本学に在籍する外国人留学生で学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。年額50万円を上限に給付。
ハレルヤ教会奨学金	教会教職コースに在籍し、日本あるいは韓国で牧師となる意思のある者。年額25万円を上限に給付。
100周年記念教会奨学金	教会教職コースに在籍し、日本で牧師を目指す韓国人学生及び日本人学生。年額48万円を上限に給付。

※ 上記奨学金は、授業料との相殺支給。

【日本学生支援機構】

奨学金名	対象・金額等
第一種奨学金(無利子)	貸与制無利子 貸与月額50,000円または88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与制有利子 貸与月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択
授業料後払い制度(無利子)	貸与制無利子 授業料と生活費奨学金を貸与 (生活費奨学金は月額0円、20,000円、40,000円から選択)
学習奨励費	給付奨学金 在留資格が「留学」である外国籍の者。 大学院レベル 月額48,000円

日本学生支援機構ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

18 修士論文・修士プロジェクト指導教員一覧(2025年度)

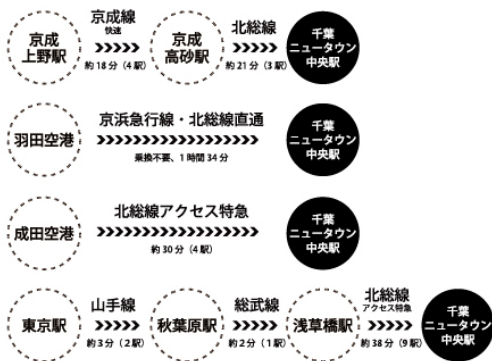
研究領域	教員(職位)	担当科目
聖書学	伊藤 明生 (教授)	神学研究の基礎 ※1 聖書学研究Ⅰ(解釈学) 聖書学研究Ⅱ(緒論) ※1 聖書学研究Ⅷ(福音書) 聖書学研究Ⅸ(パウロ書簡) 神学インターンシップⅠ,Ⅱ,Ⅲ
	菊池 実 (教授) ※2	説教演習Ⅰ ※1
	公文 光 ※2	聖書学研究Ⅱ(緒論) ※1
	木内 伸嘉 (教授)	-
神学・教会	山口 陽一 (教授)	神学・教会研究Ⅹ(日本キリスト教史) 実践神学演習Ⅱ 説教演習Ⅱ
	岡村 直樹 (教授)	神学研究の基礎 ※1 神学・教会研究Ⅰ(人間理解とミニストリー) 神学・教会研究Ⅱ(キリスト教と教育) ※1 神学・教会研究Ⅲ(キリスト教と心理) 実践神学演習Ⅰ
	大和 昌平 (教授)	神学・教会研究Ⅳ(日本の諸宗教とキリスト教) ※1
	篠原 基章 (教授)	神学・教会研究Ⅸ(現代における宣教と教会)
	岩田 三枝子 (教授)	神学・教会研究Ⅴ(キリスト教と女性)
	齋藤 五十三 (教授)	神学研究の基礎 ※1 神学・教会研究Ⅶ(キリスト教の教理形成の歴史) 説教演習Ⅰ ※1
	須藤 英幸 (准教授)	神学・教会研究Ⅵ(宗教改革史) 神学・研究教育Ⅷ(近現代のプロテスタント神学)
	徐 有珍 (准教授)	神学・教会研究Ⅱ(キリスト教と教育) ※1

※1 オムニバス方式(複数教員で担当)

※2 研究指導補助教員

東京基督教大学Webシラバス <https://syllabus.tci.ac.jp/>

交通案内・試験会場



北総線

「千葉ニュータウン中央駅」下車

- 南口バス乗り場 ちばレインボーバス高花行き
「電話局」下車 徒歩7分
- 駅から徒歩25分



東京基督教大学大学院 神学研究科

TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

270-1347 千葉県印西市内野三丁目 301-5

TEL. 0476-46-1131 FAX 0476-46-1405 E-mail graduate-school@tci.ac.jp